

(別紙)

「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」の「緊急対応型調査研究」について今回募集する研究対象

研究対象	研究対象の背景と想定される試験研究の概要
防疫時の使用状況に応じた消毒用資材の有効性に関する緊急研究	<p>本年4月に宮崎県で発生した口蹄疫では、消毒の重要性が再認識された。現場で使用されている消毒用資材は、一定の条件下で口蹄疫を含めた微生物に対する消毒効果が確認されているものの、実際の使用条件での効果の程度、消毒対象物への影響の検証が必要である。</p> <p>このため本課題では、家畜防疫の際に現在用いられている消毒用資材について、</p> <ul style="list-style-type: none">①有機物存在下での消毒効果の持続時間の検証②土壌や堆肥への浸透性、浸透後の消毒効果の検証③薬剤を霧状に散布した際の消毒効果の検証④光、温度、湿度等の環境因子の消毒効果への影響の検証⑤腐食性等の消毒対象物への影響の検証 <p>等を行うものとする。</p> <p>なお、検証を行う消毒用資材の種類、消毒の対象物品及び現場での使用状況については、必要に応じて課題採択後に農林水産省と調整することとする。</p>

上記研究対象に係る調査研究については、本年度内に終了し、所期の成果を出すことが求められます。
なお、研究費については、基本的に1千万円を上限としています。

研究内容に関するお問い合わせ先
農林水産省 農林水産技術会議事務局
研究開発官（食の安全、基礎・基盤）室 鈴木
Tel:03-3502-7430